



株式会社

ミヤモト家具社内報 2026.1 Vol.12

ミヤモト家具ホールディングス  
公式Instagram



フォローはこちら

社内の面白い取り組みを発信しています！

# 「10億円の価値」<sup>しじょう</sup>を市場へ届ける!!

## 皆で挑み続けた… 狭き門への挑戦!



### 皆で見てきた夢「10億円の達成！」

社長戦略室の村岸です。昨年末、私達は2022年から4年間、皆で見てきた「夢」の実現を、遂に果たすことができました！その夢は…売上「10億円の達成！」家具小売業で絞った場合、日本の中小企業の中で、およそ0.005%に入る、狭き門に挑戦した4年間でした。2000年、年商3,000万円から始まった小さな個人商店出身企業でも、正しい考え方の元、正しく努力すれば強くて太い企業にもなれる！ということをもとに、証明することができました！大きな店舗では味わいにくい、人と人の関わりの中で生み出されるその「温かさ」と…高い専門性を求め続けた「拘りの家具」そして数々の「仕組み」を持って「お客様のお役に立ちたい」そんな…同じ志を持つ仲間を、毎年少しずつ増やし続けてまいりました。互いを尊敬し励まし合いながら、社員ひとり1人が本気で「お客様に喜んで頂きたい！」という想いの中、向き合ってきた結果であり、これはあくまで通過点です！そして、これからは、家具業界は勿論、全国の小売業の皆様が、誇りを持って働けるような、「新たな道」を、我が社が切り拓くキッカケになりたい！全国各地で働く、同業他社の皆さまに、少しでも夢と希望と、そして勇気を与えられるような存在になりたい！そして少しずつ…地域に根差した商店街に昔の活気を取り戻し、小規模な小売店でも、大人も子供も安心して買い物を楽しめる世界をつくりたい！皆さまのお役に立てる会社になれればと思っています。社員一同、社会に貢献出来るよう、頑張ります！（\*~\*）



### ～「億」という字に込めた、社長の想い～

何故？「億」ではなく、文法的には、間違った表現の「億」を使うのか？「億」は人偏ですが、「億」は立心(りっしん)偏。つまりそれは…「心」です。単なる数字(算盤)として追うのではなく、【心(論語)】を込めて届けた、その結果としての数字にしたいという想いから、「売上は、お客様のご満足料である」という我が社の信念が、そのまま反映された言葉になっています。そして、もう1つの理由は、お客様にとって【記憶】に残る仕事がしたいからです。「億」という字は「心に留める」という意味を持ちます。一過性の売上ではなく「お客様の記憶に、一生残るような価値」を提供したいという想いを、この言葉に込めました。弊社の仲間や社員が、「なぜこの数字を目指すのか？」と原点に立ち返った時、私たちの目標は「意思(意)」と「ころ(心)」が備わった「血の通った目標」だと、その文字を見るたびに、お客様や働く仲間を憶(おも)う事が出来ます。



いつか

# 「地域社会に貢献した」

と、胸を張って言える会社になりたい！



## 「地元で愛され続けた…街のダンス店」

1941年 ミヤモト家具の前身「宮本ダンス店」が創業。

社長の祖父が立ち上げ、夫婦二人三脚で始めた、地元のどこにでも  
あるような、小さな小さな個人商店でした。当時の時代の象徴である、  
婚礼家具を中心として、地域の方に愛され頼りにされた店でした。



現在の千石町商店街



## 1994年「淘汰されてゆく…商店街の個人商店」

二代目を予定していた、社長の父である辰彦が死去。それを追うように創業者の辰一郎、祖母の  
ゆる子が死去。ここから数年で時代背景に大きな変化があり、郊外型ショッピングセンターやロー  
ドサイド店舗が全国各地に少しずつ拡大。豊富な品揃えや低価格戦略で消費者は惹きつけられ、  
商店街からは客足が遠のきました。宮本ダンス店も多額の負債を抱え、厳しい経営を迫られます。



## 2000年「大型店・ネット通販…時代に抗い続ける正統派」

社長は宮本ダンス店から受け継いだ1億円の負債を抱え、ミヤモト家具を設立。現在は、大手となっ  
た家具屋が勢力を伸ばし始め、ネット通販が徐々に台頭してきた、そんな時代でした。店舗をオー  
プンしても、お客様が一人も来ないという日が続き、会社も自分自身も、絶望の淵に立たされる事  
が日常茶飯事。同じような街の家具屋さんには、ことごとく立ち行かなくなり、家具製造業に至るまで、  
この時代からおおよそ25年で全国でも7割以上の家具屋さんが、廃業・倒産を余儀なくされました。



## 2014年「前身宮本ダンス店！個人商店の星になる！」

2012年には自社工場Vintage Factoryを立ち上げるなど、挑戦し続ける中で、借金を返し終えた  
2013年。これまでとにかく借金を返すことに必死だった社長は、家具屋を続けていく目的を見失い  
ます。それでも、ミヤモト家具だからこそ、追い求められる新たな大目的を見出し、新たに仲間と共  
に発展する道を選びました。初めて具体的な数字目標を掲げた2014年。僅か1つの店舗で見事、  
目標の売上3億円を達成…！社長は嬉しさのあまり涙し、専務と抱き合い喜びを分かち合います。



## 2022年「10億円を達成したら、ビールかけをしよう！」

ミヤモト家具は2014年以降、増収増益を繰り返し、店舗も拡大していきます。造作や特注家具に特  
化した店舗LOWVE、SOLIDやRENSEYといった大手家具メーカー様と共同開発した家具ブランド  
を立ち上げ、全国展開するなど、家具業界の新たな未来を切り拓いてまいりました。2022年、当時  
の経営計画発表会で、今年は10億円の売り上げを目指すことを発表！会社で働く仲間の幸せは  
勿論、お客様をはじめ、多くの方々幸せに、社会から貢献したと認められる指標であると思い、  
挑戦！皆と全力で目指しましたが…惜しくも達成することはできず、大変悔しい想いをしました。



## 2025年 悲願の…「10億円達成！！」

2025年の最終営業日終了後に、執り行われた忘年会で、社長から売り上げが発表され  
ました。「10億…」と、聞くや否や、歓喜に満ち溢れる中、感情が抑えきれずに涙する  
社員が大勢。興奮のあまり、抱き合い、ハイタッチする社員の姿も。その涙の裏には、  
心から喜び嬉し涙する者もいれば、悔しさに涙する者も。ただ、間違いなく社員1人ひと  
りが、働く仲間にとっての「最高の脇役」となり、尊敬する仲間と仕事を楽しむことが出来  
たそんな1年でした。これから入社してくる、何十人もの後輩社員に、「自分も経験した  
い！」…そう思ってもらえるよう、歴史を語り継ぎ、未来に繋げていきます！！

ミヤモト家具は理念を刷新し、  
新章を迎えました。

そして、2027年9月16日

宮本ダンス店を、

商店街に復活させます！

